

# TDU Agora



2018年度より

**工学部第二部(夜間部)が新たな取り組みを始めます**  
～社会人が学びやすい環境を整備～ ..... 1

## CONTENTS

今月の顔 寿楽浩太准教授(工学部人間科学系列) .....	3	TOPICS .....	8
キラリ★電大生 東京千住キャンパス 自動制御研究部 .....	4	キャンパスよもやま情報.....	9
TDU LABO 建築・環境計画研究室(未来科学部 建築学科) .....	5	News.....	10
「電大ガールズ」D-girls.....	5	Information .....	15
学び探求 環境パフォーマンスB(情報環境学部) .....	6		
中学校・高等学校 .....	7		



## 2018年度より 工学部第二部(夜間部)が新たな取り組みを始めます ～社会人が学びやすい環境を整備～

本学園は1907年(明治40年)に若き技術者、廣田精一と扇本眞吉の2人により「電機学校」として、夜間部からスタートしました。その後、電機学校の「実学尊重」の精神を受けつぎ、「技術は人なり」を教育・研究理念として東京電機大学を設立し、夜間部として展開しているのが工学部第二部です。

工学部第二部は、現在も企業等に勤務しながら専門分野の深い知識を身につけようと多くの学生が学んでおり、都市型キャンパスの特性を活かす教育の場として本学を選ぶ企業も増えています。電機学校をルーツとする夜間部の教育をさらに発展させていくことが本学の社会的使命であると捉え、平成30年度より改編を行います。

### 工学部第二部改編のポイント

- Point 1** 「社会人課程(実践知重点課程)」の新設  
 ☞ものづくりの現場で適切な判断をくだす実践知を重点的に学ぶ教育
- Point 2** 「はたらく学生入試」の導入  
 ☞入学と同時に、実験・実習等の補助などを行う学生職員となる独自の職業付き入試
- Point 3** 「入学定員」の増加  
 ☞電気電子工学科、機械工学科、情報通信工学科の3学科で各10名の定員増加

工学部第二部改編の目玉となるのが、「社会人課程(実践知重点課程)」の新設です。

新課程名称の「実践知」とは

- 実践の現場で適切な判断をくだすことができる能力〔※1 池田光穂〕
- 変化する環境の中で、前後の事象の関係性、つまり、その時々コンテキストを読み解きながら賢いジャッジメントをする能力〔※2 野中郁次郎〕

とされています。

そして、次の構想の下、社会人課程(実践知重点課程)を設置します。

#### 【社会人課程(実践知重点課程)】

〈実践〉の主体は「企業(現場)」に、〈知〉の主体は「大学」にあると考えます。大学での学修〈知〉だけで、一人前の技術者がすぐに育つわけでありません。企業におけるOJT〈実践〉をとおして、技術者は成長し育っていきます。このため、技術者が一人前になるためには、一般に時間がかかります。

実践知重点課程は、〈知〉と〈実践〉との掛け橋になって、プロ技術者(「実践知リーダー」)の早期育成を目指します。



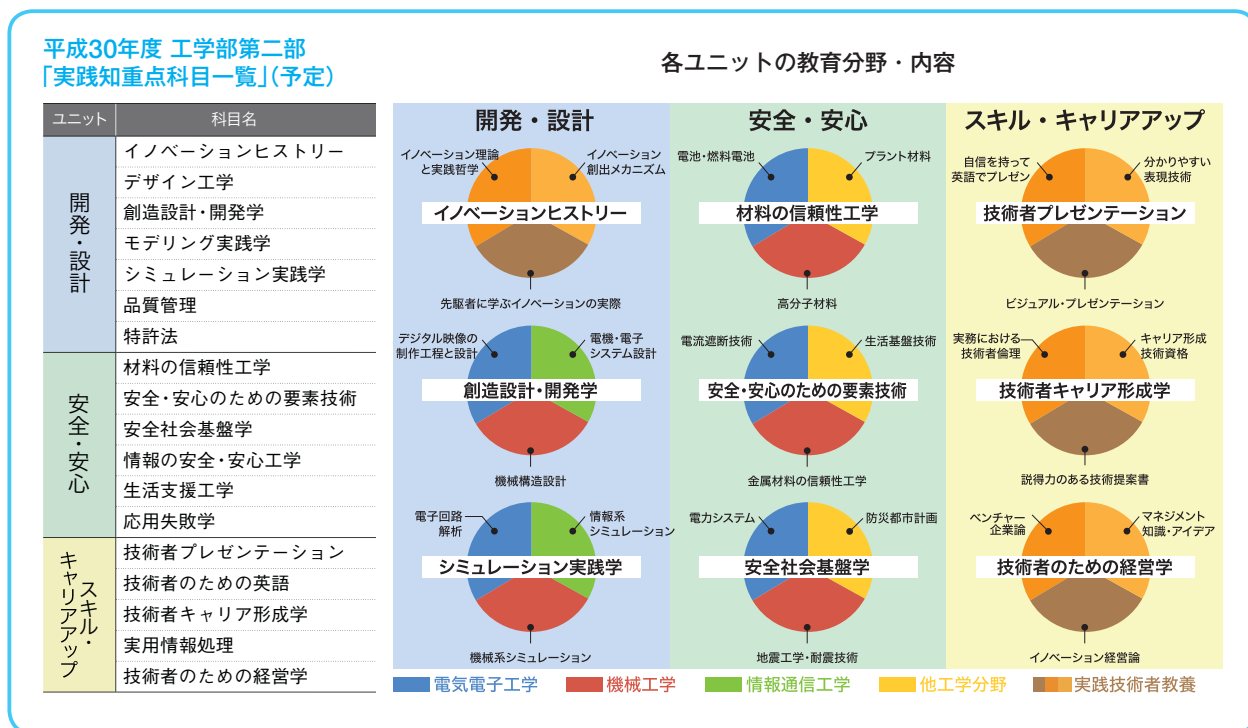
※1 <http://cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/060517knowlege.html>

※2 <http://www.nikkeibp.co.jp/article/tk/20140217/384095/?P=1>

この考えに基づき、佐藤太一工学部第二部長を中心に、新課程の教育の柱となる実践知重点科目(18科目)を開発しました。

この科目は、東京千住キャンパスに属する3つの昼間学部(工学部、未来科学部、システムデザイン工学部)の教員が担当するとともに、東京電機大学技術士の協力も得て、平成30年度より開講します。

主な科目の特徴は、「電気電子」「機械」「情報」の分野横断型の教育であり、これをものづくりの現場で適切な判断をくだす実践知を重点的に磨く科目と位置付けています。



### 新課程開設フォーラムを開催

～ものづくりの現場で適切な判断をくだす実践知を磨くために～

- 日時 平成29年9月16日(土) 16時30分～19時45分  
 場所 東京千住キャンパス 1号館2階丹羽ホール(フォーラム)  
 1号館1階100周年ホール(懇親会)  
 参加者 学外者 72名  
 学内者 161名(内訳 学生105名、教職員56名)  
 合計 233名

- 内容等 (1)フォーラム  
 ・記念講演  
 安田 浩 学長・清水 康夫 教授(工学部先端機械工学科)  
 阪根 信一 氏(セブン・ドリーマーズ・ラボラトリーズ(株)代表取締役社長)  
 ・新課程及び実践知重点科目説明  
 佐藤 太一 工学部第二部長  
 (2)懇親会



阪根社長の講演

当日は台風18号接近に伴う悪天候にも関わらず、学内外の多くの参加者が集い活発な質疑応答等も行われ、有意義なフォーラムとなりました。

またゲストスピーカーの阪根氏からは、最先端の製品開発に関わる見識や経験をお話し頂き、多くの参加者の興味を惹き付けました。

フォーラム後の懇親会では、飲食をしながらのトークセッションを実施し、盛況のうちに終了しました。

なお、記念講演の様子は、大学公開講座の情報検索サイト「小学館まなナビ(<http://mananavi.com/>)」にも掲載されました。

今後は、この実践知重点科目を企業等の技術者の学びを支援する『技術者研修』とも位置付け、外部一般の社会人にも広く周知し、単独または複数科目群を短期間で受講できるプログラムを確立していきます。

実践知重点科目の詳細等については、本学ホームページ<https://www.dendai.ac.jp/>をご参照ください。

# 科学技術と社会のよりよい関係をめざして

～原子力をテーマとする学際的研究～

工学部人間科学系列  
寿楽 浩太 准教授



寿楽浩太准教授



韓国での国際会議で講演



「教養演習」科目での原子力発電所見学引率

## 原子力を主なテーマとする 科学技術社会学の研究

科学技術は豊かな社会を実現してきた一方で、時には重大な災厄をももたらします。人智の結晶であるはずの科学技術がなぜ、「失敗」による損害を引き起こしてしまうのか。私が幼少の頃からずっと抱えてきた大きな疑問です。

学生時代の勉強を通じて、この問いを解くためには科学技術と社会の関係について深く探究することが必要だと考え、科学技術社会学を専攻しました。当時、研究で取り上げるテーマを選ぶ際、原子力はそうした科学技術と社会の間の摩擦がもっとも強く現れる分野の一つだと考え、それ以来一貫して原子力をテーマとした研究に取り組んで来ました。

2011年の東日本大震災・福島原発事故の複合災害(3.11災害)は、私にとって大変な衝撃でした。自然災害と科学技術の「失敗」が複合するさまを目の当たりにして、自らの問題意識や関係する知識がいか

に浅はかであったか、痛いほど思い知らされました。

## 科学技術の「失敗」と そこからの社会的学習をめぐって

3.11災害は、原子力や防災といった関連分野のみならず、広く現在の科学技術のあり方全般に重い課題を突きつけました。私たちがこの経験から何を学び、科学技術と社会の関係をどう展開させていくのか、「社会的学習」が問われています。

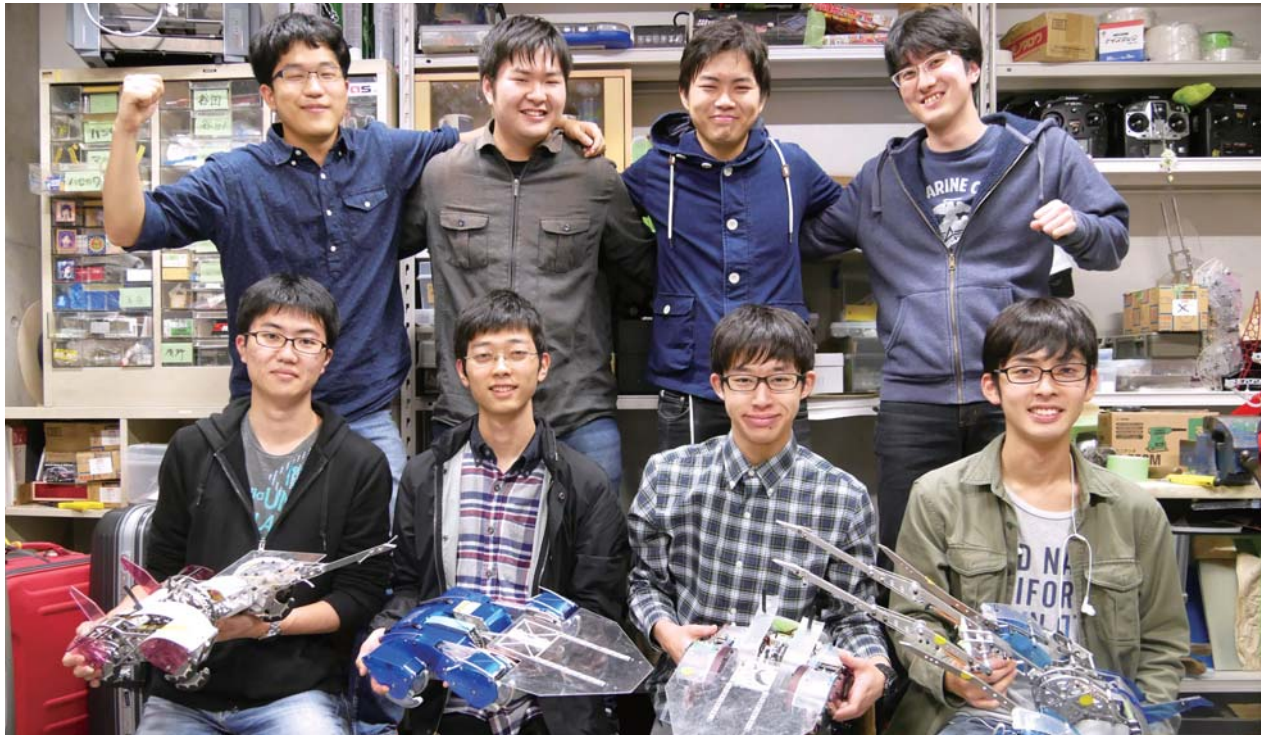
その中で近年注目されているのが、「レジリエンス」の考え方です。いわゆる「想定外」はきっと起こると考えて、想定を高めたり、想定範囲内での頑強さを高めたりするばかりではなく、システムの一部が損傷を受けても最低限の機能を発揮することや、損傷からなるべく早く回復することなどを考えに入れた対応をしようというものです。

こうした考え方は工学にも新たな可能性をもたらしていますが、一方で、従来型の「増強・強化」の研究や政策、事業に「レジリエンス」の名札を貼っただけのような事例も見受けられます。真に実りある「社会的学習」につながるのか、正念場です。私も注意深く状況を見守りながら、建設的な問題提起を続けていきたいと思っています。

### 寿楽 浩太 准教授 プロフィール (工学部人間科学系列)

- 2008年3月 東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学
- 2008年4月 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 特任助教
- 2010年5月 カリフォルニア大学バークレー校原子力工学科 客員研究員(～2011年7月)
- 2011年6月 博士(学際情報学)学位取得(東京大学)
- 2012年4月 東京電機大学未来科学部人間科学系列 助教
- 2017年4月 東京電機大学工学部人間科学系列 准教授

Profile



東京千住キャンパス 自動制御研究部

## 目指すは、「かわさきロボット競技大会」優勝

自動制御研究部

半田 義晃(工学部 機械工学科先端機械コース2年)

自動制御研究部は46名(男子:44名、女子2名)で活動しており、ロボット作りを通して加工機やNC機の使用法、仕組みを学びながらものづくりに対する関心と知識、創造力などを日々鍛錬しています。製作しているロボットは、毎年開催される「かわさきロボット競技大会」での優勝を目標としています。

「かわさきロボット競技大会」とは毎年夏に“若者のものづくりの登竜門”として、総合技術的なロボットの製作を通じ次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を目的として開催されています。大学生以外にも、高校生や社会人も参加する大きな大会であり、私たちはバトルロボット部門とテクノクエスト部門(技術賞)の2部門に参加しています。

バトルロボット部門は、アームと脚に機構を組み込んだロボットを山や丸丘といった障害物があるステージ上で動かし、相手を場外に出すか、ひっくり返して10秒カウントをとることにより勝敗を決める競技です。この競技の見どころは重量3.3kg、幅250mm、奥行き350mm、高さ700mmの四角のスタート台に入るように設計されたロボットが、スタートの合図と同時に飛び出し、多種多様なアームや機体で相手を投げ飛ばしたり、押し出したりする迫力満

点の試合です。テクノクエスト部門(技術賞)は、競技をする部屋とは別の部屋から遠隔操作で操縦し、クリアした課題の数と速さ、機体の評価で勝敗が決定します。

8月26日から27日に開催された「かわさきロボット競技大会」では、バトルクエスト部門で2名の部員がベスト8へ進出しました(テクノクエスト部門は2018年3月に開催予定です)。自動制御研究部は部活動を通して、ロボットという形あるものを製作することで分かる知識や設計の重要性、課題解決策等を学ぶことができます。

今後も支えて頂いている方々に感謝し、良い結果が出せるように部員一同努力してまいります。



激しくぶつかり合うロボット

## 建築・環境計画研究室

～人を助け、支える建築や環境を考える～

未来科学部 建築学科  
山田 あすか 准教授



山田あすか准教授

建築分野の様々な専門領域の一つに、「建築計画」という領域があります。簡単にいうと、人の活動(人の過ごし方)や社会制度と建築空間の関係の橋渡しをする領域です。この研究室では、特に医療・福祉・居住・教育といった社会基盤となる施設を対象とした建築計画の研究や計画提案の実践を行っています。

もう一つ、「環境行動」という領域も専門にしています。建築計画の領域が、人と建築の関わり方を調べて建築空間のあり方の提案に結びつけていくのに対して、環境行動の領域では「人と環境」の関わり方そのものが研究対象です。ここでの「環境」とは、その場にあるものや見えるもの、居合わせる人などその場の状況を含み、人々にそれぞれ固有に存在する「心理学的環境(行動環境)」です。その空間が客観的に見てどうであるかではなく、ある人にとってそこはどのような環境として感じられるかということを中心とする領域です。

この2つの領域を両輪とすることで、例えば「学校はどのようにあるべきか」という現行制度の中での現実的な問いと、「子どもたちの学びや遊び、生活の環境はどのようにあるべきか」という本質的な問い(それはしばしば現行の社会制度のあり方への問いでもあります)を両立できます。それによって人間の生活を支え、成長・発達や療養を支えるために建築や都市の空間はなにをできるか、なにをしなければならないかを様々なスケールで考えられます。

今、建築の分野ではスクラップアンドビルドの「つくる時代」から、「つかう時代」への転換が図られています。また、社会に共に暮らすさまざまな人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上や、その人らしい当たり前の暮らしの支援のため個々人にとっての環境の評価が大切になっています。

研究室での活動の一環として、研究成果を活かした環境づくり紹介サイト「環境づくりのリゾームサイト<<http://rhizomesite.com>>」の作成・運営も行っています。ご興味があればぜひ一度ご訪問ください。



毎週行われるゼミでは、活発な意見が飛び交う

## 「電大ガールズ」D-girls

私たちは学園祭(旭祭11/4～5)で例年「ベビーカステラ」を販売しています。たこ焼き器を用いてクルクル焼くのが、D-girlsのベビーカステラの特徴です。今年も夏休みに、新作に向けての試作会を行いました。

従来のベビーカステラには豆腐を混ぜており、ふんわりとした食感が特徴でした。今回の試作会では豆腐の代わりに、健康に良いとされる「おから」を入れて作ってみました。是非学園祭にご来場ください。



工学部電気電子工学科電子光情報コース3年  
岡田 樹

# 環境パフォーマンスB ～学校施設をデザイン～

情報環境学部 情報環境学科建築デザインコース 3年次後期  
伊藤俊介教授、江川香奈助教、溝渕匠非常勤講師

建築デザインコースの2・3年次には、オフィス、美術館、集合住宅、学校等の各種建物の設計演習を行っています。3年次後期には集大成として、現実の状況をふまえた設計をすることを目的に、実際の学校施設を対象として自治体が抱えている課題に対して建築的ソリューションを提案するプロジェクト型の演習を行っています。

ご協力いただいているのは、東京都昭島市教育委員会です。はじめに現地・校舎を見学し、市担当者の方のレクチャーを受けます。ここでは現有の校舎の老朽化、教育機能の向上、児童数の減少や増加に対応した施設整備など、日々の維持管理から長期的課題まで、実態について聞きます。そしてこれらの課題に応える形で既存校舎の改修、教室インテリアのアップグレード、新しい運営方式の校舎の計画のような、いくつか異なるテーマから選択して設計をします。

同じ建築デザインコースの学生でも、進路は建築設計からインテリアデザイン、リフォーム、不動産開発まで多岐にわたります。そこでリアルな課題に



▲施設見学とレクチャー  
▶グループワーク

取り組むだけでなく、関心に合ったテーマを選べることで学習へのモチベーションを高めることを目指しています。また、それぞれが将来どのような形で建築・デザインを仕事にするかを考える手がかりとなることを期待しています。

テーマ設定は現実には具体的なものですが、実施が決まっている事業というわけではなく、様々な可能性を模索することを目指しています。中間発表、最終発表には担当者の方がコメントやアドバイスをし、それらをふまえた成果物を報告書として提出します。この授業で学生は、デザイン・作品としての新しさと、実現する場合に考慮・解決しなければならない課題のせめぎ合いを経験します。実はこの企画は、情報環境学部の卒業生がここに勤務していることがきっかけで実現したものです。在学生在が卒業生のロールモデルに接する場としても貴重な機会になっています。



様々な提案(報告書より抜粋)



講評会

## 技術革新者の名言とエピソード vol.3

### “世界最古の紙「さいこうし蔡候紙」”

蔡倫 (50年? - 121年?)

紙の発明者(製造法を確立した功労者)

(エピソード)

紙(paper)の語源パピルスは、原材料となった水草の名前。BC3000年代から古代エジプト文明で使用されたと言われる。しかし実際に発見された最古の紙は、中国

の古墓で発掘された地図が描かれた麻の紙。さらに、記録に残されたものとしては、「後漢書」に宮廷の長官、蔡倫が105年に皇帝に紙を献上したとある。蔡倫は麻の布やぼろ、樹皮魚網を材料に現在とほぼ同様の紙の製造法を発明し、蔡候紙と呼ばれた。

その後改良が重ねられ、中東から欧州へ伝播、蔡倫の発明した紙はそれまで高価だった絹や不便な竹や木簡に代わり、広く使用された。彼により人間は記録を紙に残すことで情報をより広く、より長く、簡易に伝達できるようになった。

## 第26回 TDU 武蔵野祭が開催されました ～テーマは「ひらけ ぼくらの未来」～

9月16日(土)から17日(日)に、第26回武蔵野祭を開催しました。台風18号の接近に伴い、開催2日目の展示時間を2時間繰り上げて終了し、生徒が安全に下校できるよう早めに撤収作業を行ないました。企画展示やアリーナでのパフォーマンス発表会は時間短縮となりましたが、ほぼ予定していたスケジュールどおり実施することができました。アリーナは舞台の照明設備を拡充し、演出効果が良くなりました。急なスケジュール変更であったものの、文化祭実行委員をはじめ生徒全員の協力で混乱なく終了することができました。



TDU 4D-Lab 研究発表



科学部による実験



大学のフォーミュラSAEプロジェクト展示



中学3年生創作 大久保校長

今年も趣向を凝らした企画が盛りだくさんで、昨年からはまったTDU 4D-Lab活動展示と研究発表のプレゼン内容はさらに充実しています。生徒の課題探求学習を披露する場として今年で2回目となり、生徒たちは緊張しながらも一生懸命に説明する姿が印象的でした。

また、バザーは雨天にも関わらず朝から順番待ちの行列ができ、恒例の賑わいとなりました。保護者の皆様からはたくさんのバザー品を提供頂き、PTAの皆様が一つ一つ丁寧に準備され、会をサポートして頂きました。汗だくになりながらご協力頂いたご父母の皆様へ、感謝申し上げます。

今回の武蔵野祭には、高大連携の一環として大学に協力を仰ぎ、埼玉鳩山キャンパスからフォーミュラSAEプロジェクトのレーシングカー展示と、スペースプロジェクトの実機展示を行ないました。海外で転戦してきた機体に触れることができる機会とあって大盛況となりました。大学生による懇切丁寧な説明もとても好評でした。みなさんお疲れ様でした。

このほか、実行委員による横断幕の制作や文化祭Labによるパンフレット制作など、生徒が力を合わせたまとまり感のある文化祭でした。来場者は昨年の3,000名には届かなかったものの、たくさんのお客様をお迎えすることができたことを御礼申し上げます。





9月4日、長野電鉄貸切列車前にて

## 貸切列車イベント in 長野 ～しなの鉄道&長野電鉄～

理工学部 鉄道研究部副部長  
久保田 智貴(建築・都市環境学系 2年)

9月3日から4日に長野県にて、貸切列車イベントを開催しました。初日は電気通信大学鉄道研究会と共同で、しなの鉄道で湘南色になって登場した115系S3編成を軽井沢駅～屋代駅間で貸し切りました。途中、信濃追分駅～御代田駅間にて浅間山が見えるはずでしたが、生憎の天気で残念な結果となってしまいました。上田駅や西上田駅で長時間停車をし、上田駅では電留線に移動し歴代のヘッドマークを掲出し撮影会、西上田駅では部品販売等の企画を行いました。

2日目は私たちが主催となり、長野電鉄の3500系N3編成を湯田中駅～長野駅～須坂駅間で貸し切りました。車内では貸切列車限定で幻の須坂駅弁「みそすき丼」が配られ、一同美味しく頂きました。また終点の須坂駅で車掌体験及び撮影会を行いました。

今回のイベントを体験したことで、部員たちは鉄道への興味関心がより一層深まったと思います。本イベントの内容は、学園祭(鳩山祭11/3～5)でも公開しますので、是非ご来場ください。



「みそすき丼」を食べる部員たち



JAXA 筑波宇宙センターにて

## 秋期留学生学外研修 ～日本文化に触れて～

国際センター

9月3日に茨城県にて、「秋期留学生学外研修」を開催し、86名(留学生58名、日本人学生18名、教職員10名)が参加しました。この研修会は、留学生に日本をよく知って頂くことを目的とし、毎年開催しています。

東京千住キャンパスからバス2台、埼玉鳩山キャンパスからバス1台が発出し、「JAXA 筑波宇宙センター」を訪れました。セキュリティが厳重な「機密エリア」の見学、「スペースドーム」内に展示されている実物大の人工衛星や宇宙ステーション等に実際に触れることができました。枯山水の日本式庭園が美しい料亭での昼食後は、笠間市で「笠間焼」の陶芸を体験しました。最初は何を作るか考えあぐねていましたが、手を動かして粘土を捏ね始めると、瞬間に思い通りの形に仕上げた素晴らしい作品が完成しました。

今回の研修を通じて「宇宙」を身近に感じたり、夢中で手を動かし日本文化を体験し、他キャンパスの学生と交流を図ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。



「笠間焼」を体験

東京千住キャンパス

## シドニー大学デモレッスン



10月4日、東京千住キャンパスにて、グローバル・イングリッシュの体験レッスンが行われました。シドニー大学 Center for English Teaching (CET)\*の Dr. Georgiana Toma氏によるこのレッスンに、24名の学生が参加しました。

参加者の名前を覚える icebreaking game で緊張がほぐれ、初対面の学生同士が臆することなく英語でコミュニケーションする積極的な姿がみられました。参加者の英語力を把握した軽妙な授業で、終始学生の笑顔が絶えませんでした。(国際センター 鈴木)

(\*)シドニー大学 CET: オーストラリア、シドニー大学附属の英語学校。毎年春休み期間に約3週間の海外英語短期研修を実施。今年度の募集は11月中旬予定。

千葉ニュータウンキャンパス

## クリーン運動の実施について



10月6日に、秋葉祭の準備による休講日を利用して、本キャンパス周辺の清掃活動を実施しました。近隣にお住まいの方への日頃のご支援に感謝の意味を込めながら、翌日から開催の第16回秋葉祭に気持ちよくお越し頂けるよう学生団体、事務職員が中心となり、街路樹の落ち葉拾いや草むしり等を行いました。

このような活動を通じて、キャンパス内外の美化につなげていくことができると思います。

(情報環境学部事務部 岩渕)

埼玉鳩山キャンパス

## スリーデーマーチ表彰式



歩け歩けの町、東松山市が実施している日本スリーデーマーチは、毎年鳩山祭開催と同時期であることから参加者がキャンパスに立ち寄り、歩き疲れた身体を休めるようトイレや学園祭の見学等で協力してきました。

本イベントは参加者が10万人を超える日本最大のウォーキングイベントで、今年は第40回記念大会にあたることから、埼玉鳩山キャンパスが功労表彰を受け、9月26日に庶務担当課長が表彰式に出席しました。(理工学部事務部 飯田)

東京小金井キャンパス

## 中学体育祭



9月29日に行われた中学体育祭は天候が心配されましたが、前日までの雨が嘘のように当日は秋晴れとなりました。競技が続いて得点が加算されると応援にも力が入り、熱い戦いが繰り広げられました。

最後の色別リレーの結果が出るまで優勝チームが分からない展開で、会場にいた皆がハラハラしたと思います。総合優勝は赤チームでした。

(中学校教諭 島崎)

## 東京神田キャンパス 日本橋ワイン祭り2017

10月21日に、「神田・日本橋ワイン祭り2017」が開催されました。この催しはワイン好きボランティア団体が企画・運営する街おこしイベントで、2014年から毎年行われています。

通常「街おこし」というと自治体主導ですが、このイベントの主催者メンバーはいわゆるビジネスマン。昼間は仕事、夜は神田に集まってワインを飲む、そんな日々を送っているうちに神田の魅力を伝えたいと思うようになり、自治体や商店街等の後援を得てイベントの開催に至った、という一風変わった団体で、合い言葉は「神田de和飲<sup>わいん</sup>」。神田を気軽にワインを愉しめる街にすることが目的です。こういった市民活動が実を結び、盛んになっていくのを見ると、何故だか元気が出てきます。(出版局 石平)



## 平成29年度 第4回、第5回 全学FD/SDセミナー

7月18日と27日に東京千住キャンパスにて、第4回・第5回全学FD/SDセミナーを開催しました。第4回は「教育の質向上に向けて」をテーマとし、212名の方にご参加頂きました。はじめに大江教育改善推進室長より、教育の質保証システムと第3期大学認証評価に際して、第2期からの変更点や本学での教育の質保証検討体制などについて説明がありました。続いて安田学長より、本学が置かれている現状、100分授業導入の経緯等について説明があり、意見交換を行いました。

続く第5回は、協定校である日本工業大学と共催で「理工系大学における教育取組み紹介」をテーマとし、73名の方にご参加頂きました。両校の学長や教職員が見つめる中、様々な分野における授業設計や運営上の工夫に触れ、意見交換やパネルディスカッションが行われました。



7月27日に開催された、第5回セミナー

## 本学とイルメナウ工科大学(ドイツ)との学術交流 ～大臣も来校～

10月2日にドイツ・チューリンゲン州より、ヴォルフガング・ティーフェンゼー経済・科学・デジタルソサイエティ大臣、フリードリヒ・シラー大学イエーナの学長、イルメナウ工科大学教授など関係者14名が東京千住キャンパスに来校しました。本学からは安田学長をはじめ、12名の先生方でお迎えし大変盛大なイベントとなりました。

このイベントでは、イルメナウ工科大学との覚書締結署名式もあわせて行われ、本学としては初めてドイツの大学との学術交流に関する覚書締結となりました。

その後キャンパスツアーを実施し、連結式縦型蓄熱槽やものづくりセンターの最新設備に触れ、感動された様子でした。

今後も、益々本学の国際交流の幅が広がることが期待されます。



締結署名式後、記念撮影

## 秋葉祭開催

10月7日から8日に千葉ニュータウンキャンパスにて、学園祭「秋葉祭」を開催しました。当日は、昨年と違って変わって両日も好天に恵まれ、本学サポート募金のご支援を受けて実施したロボット研究者 石黒浩氏の特別講演会「アンドロイドと未来社会」では印西市長をご招待するとともに本学学長出席のもと、学生や近隣にお住まいの多くの方にご来場を頂き、大変盛況でありました。

来年度のキャンパス移転を控え最後の開催となった秋葉祭は、卒業生の姿も多く見られ2日間での来場者数は約4,600名と過去最高を記録。15年分の集大成となりました。最後に、これまでご理解とご支援を頂きました皆様へ厚く御礼申し上げます。



盛り上がったJazzライブ

受賞  
情報

## 顕著な活躍をした電大人を紹介します。



山上 翔さん(1年)  
未来科学部情報メディア学科  
黒土 直斗さん(1年)  
システムデザイン工学部情報システム工学科  
U-22プログラミング・コンテスト 2017  
経済産業大臣賞<プロダクト>  
平成29年10月1日



大澤 基明教授  
工学部先端機械工学科  
日本ばね学会 特別功績賞  
平成29年9月27日



山口 正二教授  
理工学部情報システムデザイン学系  
日本カウンセリング学会 功労賞  
平成29年9月23日



野地 健太さん(修士2年)  
工学研究科機械工学専攻(光応用機械工学研究室)  
電気学会  
平成29年基礎・材料・共通部門大会  
基礎・材料・共通部門表彰  
平成29年9月19日



坂巻佑馬さん(1年) 三段跳(総合4位)  
工学部第二部情報通信工学科  
鈴木裕太さん(1年) 走幅跳(総合5位)  
工学部機械工学科  
中川聡さん(2年) 400mH(総合8位)  
理工学部電子・機械工学系  
宮澤茉莉さん(2年) 走幅跳(総合8位)  
未来科学部ロボット・メカトロニクス学科  
第49回関東学生理工陸上競技大会  
平成29年9月17日



朝山 秀一教授  
未来科学部建築学科  
日本知能情報ファジィ学会貢献賞  
平成29年9月14日



森山 柁平さん(修士2年)  
未来科学研究科情報メディア学専攻(計算言語学研究室)  
第16回情報科学技術フォーラム(FIT2017)  
FIT奨励賞  
平成29年9月14日



堰澤 映さん(4年)  
未来科学部情報メディア学科(知的計算システム研究室)  
第16回情報科学技術フォーラム(FIT2017)  
FIT奨励賞  
平成29年9月14日



高橋 宏志さん(修士2年)  
工学研究科機械工学専攻(光応用機械工学研究室)  
堀内 敏行教授  
工学部先端機械工学科  
SPIE.PHOTOMASK TECHNOLOGY + EUV  
LITHOGRAPHY 2017  
Best Poster Award  
平成29年9月14日



細田 真妃子准教授  
理工学部理学系  
2017 年度先端分析技術賞  
JAIMA 機器開発賞  
平成29年9月11日



雨宮 奨悟さん(2年)  
清水 健一さん(2年)  
理工学部電子・機械工学系  
「ROBOT JAPAN 14th」二足歩行ロボット格闘技部門  
RJフライ級  
3位入賞  
平成29年9月10日



**東京電機大学**  
**平成29年度国土交通大臣賞**  
**循環のみち下水道賞**  
 アセットマネジメント部門  
 平成29年9月8日



**高瀬 裕矢さん(4年)**  
 工学部電気電子工学科電気電子システムコース  
 (デジタル信号処理研究室)  
 電気学会 東京支部学生研究発表会  
**優秀発表賞**  
 平成29年9月4日



**楠田 浩樹さん(4年)**  
 理工学部理学系(ナノマテリアル研究室)  
**石井 聡助教**  
 理工学部理学系  
 第78回応用物理学会 秋季学術講演会  
**Poster Award**  
 平成29年9月8日



**亀田 佳希さん(修士2年)**  
 工学研究科電気電子工学専攻(グリーンエネルギー研究室)  
 平成29年電気学会産業応用部門大会(函館大会)  
 ヤングエンジニアポスターコンペティション  
**優秀論文発表賞**  
 平成29年8月31日



**山本 欧教授**  
 工学部電子システム工学科  
 ヒューマンインターフェースシンポジウム2017  
**優秀プレゼンテーション賞**  
 平成29年9月6日



**阿部香織さん(修士2年)**  
 未来科学研究科ロボット・メカトロニクス学専攻  
 (知能機械システム研究室)  
 第20回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU 2017)  
**MIRU 学生優秀賞**  
 平成29年8月9日



**新井 雅隆特別専任教授**  
 工学研究科  
 一般社団法人 日本機械学会 エンジンシステム部門  
**功績賞**  
 平成29年9月4日



**和田 将史さん(3年) 144MHz 3位入賞**  
**西岡 伊吹さん(2年) 28MHz 3位入賞**  
 電気電子工学科電子光情報コース  
**幸谷 智講師 50MHz 優勝**  
 工学部情報通信工学科  
 日本アマチュア無線連盟東京支部主催  
**第39回東京コンテスト**  
 平成29年5月3日



**松本 征輝さん(修士1年)**  
 未来科学研究科ロボット・メカトロニクス学専攻  
 (信号処理とモデリング研究室)  
 電気学会 東京支部学生研究発表会  
**優秀発表賞**  
 平成29年9月4日

(受賞日順)

## 後援会だより

## 東京千住キャンパスと埼玉鳩山キャンパスで父母懇談会開催

9月23日(東京千住キャンパス)と9月30日(埼玉鳩山キャンパス)に、父母懇談会を開催しました。東京千住キャンパスでは未来科学部とシステムデザイン工学部、埼玉鳩山キャンパスでは理工学部のご父母を対象に開催し、大変多くのご参加を頂きました。(未来科学部260組・366名、システムデザイン工学部60組93名、理工学部381組・577名)

当日は安田学長の挨拶をはじめ、大学の現況をご報告する全体会、学科説明会に続き、個人面談も行い、ご参加されたご父母の皆様は、熱心にご子女の様子を先生方に聞かされていました。

また東京千住キャンパスでは、施設や研究室等を巡るキャンパスツアーも計4回実施しました。さらに、後援会より支援をした個人・団体(10組)による「後援会イベント支援事業成果発表会」の展示も行いました。ご参加頂きましたご父母の皆様ありがとうございました。



## 校友会だより

## 『平成29年度福岡県支部総会・九州沖縄地区連絡協議会』の開催

9月30日に福岡市の八仙閣本店にて、「福岡県支部総会・九州沖縄地区連絡協議会」を開催し、九州・沖縄各県の支部長が一堂に会しました。

当日は41名の方が参加し、サイバーセキュリティー研究所所長の佐々木良一教授(未来科学部情報メディア学科)を講師に迎え、「最近のサイバー攻撃とセキュリティ対策」と現在もっとも注目を浴びている話題についてお話し頂きました。



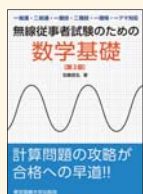
## 出版局 新刊のご案内



## くずりと薬理

海本 浩一 編著／岩谷 博次 著  
B5判 176頁 2,916円

臨床工学技士を目指している方に向けた薬理学の入門教科書。各章には問題・解答を準備。

無線従事者試験のための数学基礎  
第2版

加藤 昌弘 著  
A5判 176頁 2,376円

無線従事者国家試験の高級資格の計算問題を丁寧に解説。第2部では過去問題から多くの計算問題を掲載。実際の試験に役立つ。



## 社会シミュレーション

横幹<知の統合>シリーズ編集委員会編  
A5判 130頁 1,944円

社会シミュレーションの可能性について、社会や情報、文化など、様々な視点から読み解く。



## 特許を取ろう!

宮保 憲治・岡田 賢治 著  
A5判 168頁 2,160円

特許を取るために必要な基礎知識に加え、役に立つ特許検索の方法や活用法もまとめた。(宮保憲治教授:本学システムデザイン工学部所属)

学生だより

千葉ニュータウンキャンパス

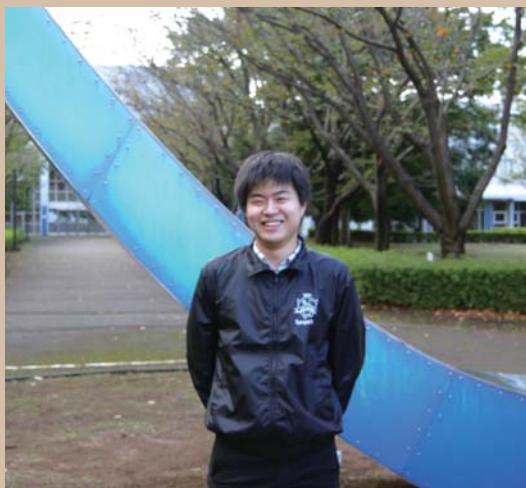
## 最後の秋葉祭を終えて

第16回 秋葉祭実行委員会 委員長

情報環境学部 3年 青山悠佑

今年で16回目を迎える千葉ニュータウンキャンパスでの学園祭「秋葉祭」を、10月7日から8日に開催しました。今年のテーマは「Anchor」(アンカー)です。リレー競技の最後の走者という意味です。来年度、キャンパス移転に伴い、「秋葉祭」は今年で最後の開催となります。これまでの先輩方の意思を受け継ぎ、最後の秋葉祭実行委員会として頑張りたいという気持ちを込めてこのテーマしました。

過去2年間は、天候不良で室内での開催を余儀なくされていたフリーマーケットが、屋外で開催されるなど両日とも天候に恵まれ、2日間で約4,600名の方にご来場頂き、家族連れで賑わう姿が随所に見受けられました。最後に、これまで秋葉祭を大きく育てて頂いた地域の方や大学関係者の方に深く感謝申し上げます。



今月の一句

梅の実の色深まりて喜寿を祝ぐ<sup>ほ</sup>

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

## 創業・揺籃期(1) | Vol.03 |

〈明治40年～大正6年〉

開校半年後、錦城商業学校(錦町三丁目)が夜間借りられるようになり移転。間仕切りの白幕とも別れ、全てが借り物ながら学校らしくなった。この校舎で記念すべき第1回卒業式を挙行了した。

開校当初からの特色である、優れた講師陣による明解な講義、アドバンス・コピー(予稿)、実物説明による丁寧な教育、電気界の著名人による科外講座などが人気を呼び、入学者は急増した。

この入学者の増加に応じて大手町一番地へ移転。大正3年校舎を買い取って、再び錦町三丁目へ復帰し、その後この建物の南側に初めて校舎を新築した。

この間、工業教育の普及と本校の財政基盤確立のため出版部を設置(明治40年)。『電機学



電機学校第1回卒業式

校同窓会』を創立(明治42年)。また『School is Coming to You』として、校外教授(通信教育)を開設(明治43年)。さらに電気雑誌『OHM』を発刊(大正3年)。大正3年昼間部を設置した。これら諸施策により校勢は大きく進展した。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」  
(一部読みやすく修正しています)

教職員親睦会  
二十住俳句会

廻子(大園成夫)

# Information

## 秋の学園祭情報

東京千住キャンパスと埼玉鳩山キャンパスにて、学園祭を開催します。今年も各研究室や学生団体の展示、模擬店、フリーマーケットに加え、アーティストやお笑いのステージを企画しています。是非ご来場ください。

### 【旭祭】

日 時 平成29年11月4日(土) 10:00～17:00  
11月5日(日) 10:00～16:00  
会 場 東京千住キャンパス  
東京都足立区千住旭町5番(北千住駅東口(電大口)徒歩1分)  
特設サイト <http://www.sg.dendai.ac.jp/sl-j-asahisai/>  
お問い合わせ 東京千住キャンパス事務部(学生厚生担当) Tel. 03-5284-5340

### 【鳩山祭】

日 時 平成29年11月3日(金)～5日(日) 10:00～16:00  
会 場 埼玉鳩山キャンパス  
埼玉県比企郡鳩山町石坂(東武東上線高坂駅西口 スクールバス8分)  
特設サイト <http://hatosai.sunnyday.jp/>  
お問い合わせ 理工学部事務部(学生厚生担当) Tel. 049-296-0496



### 編集後記

10月16日、高田純次さんが街歩きをする散歩番組「じゅん散歩」(テレビ朝日)に、東京千住キャンパスが登場しました。学生食堂を訪ね、独特のトークで場を和ませてくれた高田さん。是非また遊びに来て欲しいですね。

今年のノーベル文学賞には日系イギリス人作家のカズオ・イシグロ氏が選ばれました。昨年日本でも、著書「わたしを離さないで」がテレビドラマとして放送されました。この受賞を機に、多くの人にカズオ・イシグロ氏の作品が読まれることを願います。

# TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。